

2017年5月19日

## メディポリス医学研究所との連携協定の締結

第一生命グループの一員であるネオファースト生命保険株式会社（代表取締役社長：徳岡 裕士、以下「ネオファースト生命」）は、2017年4月28日（金）に、一般社団法人メディポリス医学研究所（理事長：永田 良一、所在地：鹿児島県、以下「メディポリス医学研究所」）とがん医療の理解促進に向けた連携と協力に関する協定書（以下「連携協定」）を締結いたしました。本協定の概要は、以下のとおりです。

### ◆「連携協定」概要

#### （協定の目的）

メディポリス医学研究所とネオファースト生命は、相互に連携及び協力を行い、がん医療に関する理解促進、がんの早期発見をはじめとした取組を推進することにより、鹿児島県民をはじめとする国民の健康的な生活の実現を図る。

#### （主な取組）

- がん検診の重要性の啓発など、がんの早期発見・早期治療に向けた取組み
  - がんの治療方法に関する理解の促進に向けた取組み
  - 先進医療等の制度に関する認知向上や直接支払制度等の経済的負担軽減の啓発
  - 陽子線がん治療の普及啓発
- 等

メディポリス医学研究所では、がん医療の理解促進を図ることにより、国民の健康増進に貢献することを目指しています。このたび、鹿児島県民をはじめとする国民の一層のがん医療の理解促進と、がん検診の受診啓発に貢献するため、メディポリス医学研究所との協定に至ったものです。

第一生命グループでは保険ビジネス（Insurance）とテクノロジー（Technology）の両面から生命保険事業独自のイノベーションを創出する取組を“InsTech”（インステック）と銘打ち、最優先の戦略課題としてグループ全体で推進しています。その一環として第一生命が持つ約1,000万人のお客さま情報を含む医療ビッグデータ等の解析を行い、更なるリスク細分型の商品や、ご加入者の健康増進の取組みの促進につながり、健康寿命の延伸に貢献できるような新たな商品の開発を進めています。

お客さまの最も身近で大きな関心事は、いつの時代も「健康でいたい」という想いです。当社は、お客さまの人生に寄り添う保険会社として、お客さまが生活習慣を見直し、健康維持・増進のきっかけとしていただけるような新しい保険の仕組みをこれからも提供していきます。

以 上